

謹んでお悔やみを申し上げます

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

号 外

平成 31 年 1 月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

**栗原延行氏逝く!****シール・ラベル業界の発展と
連合会改革に多大な功績を**

シールレックス(株)会長で、元当組合理事長の栗原延行氏は、病氣療養中のところ一月三日に逝去されました。享年八十二歳でした。通夜、告別式はすでに家族葬にて執り行われました。

栗原延行氏は、昭和十二年に東京台東区で栗原印刷創業者の栗原進午氏の長男として生まれ、昭和三十年に一橋大学商学部に入學、昭和三十四年卒業し、聯合紙器(現レンゴ)大阪本社に入社。

五年後の昭和二十九年五月に家業の栗原印刷に入社、入社したからには日本一のシール・ラベル印刷総合会社になろうと決意し、他社と同じことをしていたのでは勝てないと、①シール目ラベルのどんな注文にも対応できるように設備、技術に金をかけよう②不良品の入っていない良品だけを納めよう③お客様の困っていることを一緒に解決しようの三つを決意。

昭和十年に父栗原進午が個人創業した栗原印刷は昭和四十五年五月に延行氏が社長に就任し、当時業界はセルフラベル特許が昭和五十一年五月で失効するた

め、国の構造改善事業に取り組んでいたが、同社はこれを積極的に活用し、最新鋭の印刷機の導入など設備投資を図った。

平成四年には大阪の日新シールと合併し「シールレックス株式会社」が誕生し、業界初の大型合併として注目を集め、その後の発展ぶりは誰もが知るところ。

組合関係では、昭和四十二年に当組合理事に就任し昭和五十六年には専務理事となり、昭和六十二年には副理事長、平成六年には当時の日野七郎理事長の死去に伴い理事長に就任、類稀なる指導力とリーダーシップを発揮し、当組合の発展に多大な貢献をした。

平成三年には連合会の会長に押されて会長に就任、さらに改革への取組みが期待されたが、平成四年に理不尽な合併問題への批判に辞任した。

この頃からパーキンソン病を発症したが、持ち前の精神力で病と闘い、平成十一年に川邊農氏に社長を譲り会長に就任、平成十五年には長男の敦氏が社長に就任した。

この間も会社と組合の運営にも積極的に関与し、シール・ラベル印刷業界の将来を見据えた洞察力で業界をリードし続けた。昭和三十九年以来、今日までおよそ半世紀にわたって業界に貢献された功績に對して、心よりお悔やみを申し上げますとともに、組合員一同は根決して栗原さんの事を忘れることはないでしょう。本当にお疲れ様でした。